応募ビジネスプラン

事業名称：

企業名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当者名：

（1）本件応募ビジネスの説明（A4　4ページ以内で記載してください。）

提供する製品・サービスの内容を記述してください（図・表を用いて結構です）。

記述にあたり、当該ビジネスは技術に革新性があるのか、ビジネスモデルに革新性があるのかを明確にしていただき、「invention」「commercialization」「社会貢献性」の観点からいかに優れているかを説明してください。

必要に応じて下記事項を参考にしながら、特に競合優位性については、現在の標準的な治療法や代替製品のマーケットなどにも触れながら説明してください。

Invention記入の注意点

* 技術的革新性
* アンチエイジングの直接的な効果・効能 / 間接的なベネフィット
* 社会ニーズ / アンメットメディカルニーズ
* 競合優位性

Commercialization記入の注意点

* 対象市場（顧客）
* 販路（販売方法）

既に販売、サービスイン、ライセンスアウトしているビジネスについては、その実績をできるだけ数字で記載してください。

これから事業化を図るビジネスについては、開発から販売・サービスインに至るまでのロードマップとマーケットインした後の売上目標（年度別にブレイクダウンした3か年計画）を記載してください。

社会貢献性記入の注意点

* クオリティーオブライフを上げることができるか
* 健康を増進するか
* 医療費の削減につながるか
* 健康寿命延伸に貢献するか？
* 人類の幸せ、ごきげんに貢献するか？
* 人類の生存確率をあげることができるか？

（2）応募企業の実績（A4　4ページ以内で記載してください。）

会社の売上、営業利益、経常利益、当期利益を1期分～3期分（記載する期数は任意）

本件応募ビジネスの売上とそれ以外の売上が区別できるよう併記してください。

ビジネスモデルが研究開発型の場合には、下記を記載してください。尚、取引先（ライセンス先等）との契約で売上を開示できない場合には、売上を記載しないでください。

* 創薬・再生・医療機器ベンチャーの場合

臨床開発型ビジネスの場合には、現在のパイプライン（自社またはライセンスアウト先）の開発状況、事業提携の状況を記載してください（秘密保持契約により開示できない場合は記載不要です）。

* ロイヤリティーの発生するプラットフォーム型ビジネスの場合

技術供与（ライセンス）実績または共同研究の実績とライセンスしたパイプラインの開発状況（不明の場合を除く）を記載してください（秘密保持契約により開示できない場合は記載不要です）。

（3）研究開発の業績（A4　2ページ以内で記載してください。）

大学や企業の研究成果を社会実装するビジネスに関しては、当該ビジネスシーズに関わる知的財産権の確保状況と事業化において利用する（利用している）エビデンス（データ）を記載してください。

特許の場合には、発明の名称、特許番号（or 出願番号）、発明者、出願人、出願日を記載してください。ライセンスを受けている場合にはその内容も記載してください。

但し、本応募に関して秘密保持契約は締結しませんので、特許出願前の情報等、秘密情報は開示しないでください。また、実施権の内容について守秘義務がある場合には開示しないで下さい。（本応募により予期せず損害が発生しても、当協会、当学会は一切の責任を負いませんので、ご注意ください）。

（4）研究開発・製品開発の体制（A4　1ページ以内で記載してください。）

既に製品やサービスを市場に出しているビジネスについては製品化を成し遂げた体制を、現在も開発中の場合には開発の体制や今後の構想を、重要な提携先（大学などの研究機関等を含む）にも触れながら記載してください。

（5）支援ニーズについて（A4　1ページ以内で記載してください。）

主催団体（日本抗加齢協会、日本抗加齢医学会）に対して、応募したビジネスが成功するために支援して欲しいことがあれば記載してください。

* 指定ページ数は上限です。少ないページ数でも内容が十分なら問題ありません。

本様式2（ビジネスプラン）の他にパワーポイント形式またはPDFのプレゼン資料を必要に応じて添付可能です。ただし、様式1、様式2とパワーポイントファイルのサイズ合計が9MB未満になるように作成してください。ファイル転送サービスの利用はご遠慮ください。

* 本様式の提出に際しては、青字や赤字で記載したコメントは削除してください。